

かめっ子だより No.039

令和8年6月1日
八尾市立亀井小学校
校長 柴山 八寿夫

3～6年生が、「新体力テスト」に挑む！！

5月22日(金)、3年生以上の学年で「新体力テスト」を行いました。「新体力テスト」とは、文部科学省が定めた体力調査のことで、小学生の運動能力や健康状態を把握する目的で行われています。日常生活を元気に過ごすために必要な体力の水準を知り、今後の指導に役立てるのが狙いです。「新体力テスト」と呼ばれていますが、その歴史は古く、始まったのは1964年。東京オリンピック開催をきっかけに体力向上への関心が高まったことが背景として挙げられます。当初は「スポーツテスト」と呼ばれており、時代の変化に合わせて内容が見直されました。現在は「新体力テスト」に名称が変わり、長い歴史を持つ調査として全国で継続されています。

種目は、「握力」「上体起こし(腹筋)」「ソフトボール投げ」「長座体前屈」「反復横跳び」「立ち幅跳び」「20mシャトルラン(往復持久走)」「50m走」の8種目です。保護者の方には懐かしい種目ばかりだと思います。私はキャッチボール世代なので、みんな当たり前のようにボール投げの機会があったのですが、今はなかなかそういきません。先日、ソフトボール投げの練習をしていたクラスに飛び入りし、ボールを投げたのですが、子どもたちから賞賛のまなざしを浴びました。また、私は20mシャトルランは経験したことがないし、昔は「斜め懸垂」「懸垂」といった種目がありましたが、懸垂なんて記録0回が続出で、種目からなくなっていったのですね。

20mシャトルランは、各クラスで実施済みなので、この日は他の7種目に挑戦しました。反復横跳びやソフトボール投げは、経験が少ない児童も多いようで、コツをつかむのに苦労している子もいました。そのような中でもカー杯頑張っている姿が多く見られました。3年生にとっては初めての体験でしたが、一生懸命に取り組んでいました。4年生より上の学年は、昨年の記録を更新しようと真剣な表情で挑む姿や、友だちを「がんばれ！」と応援する温かい光景がたくさん見られました。

